

令和7年度精神保健福祉研修（上半期・下半期）

開催要領

1 目的

地域共生社会の実現に向けて、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進するため、関係機関の職員が精神障害やメンタルヘルス領域における知識や相談援助技術を獲得することを目指します。

2 実施方法

YouTube 埼玉県限定公開セミナー動画チャンネルによるオンデマンド研修です。
資料及び研修受講用 URL は、お申込みいただいたメールアドレス宛に後日送付いたします。

3 配信期間

上半期：令和7年6月13日（金）から令和7年8月13日（水）

下半期：令和7年12月5日（金）から令和8年2月5日（木）

4 内容

別紙2「令和7年度精神保健福祉研修プログラム表」参照。

5 対象者

- (1)埼玉県・県内市町村の保健・福祉・教育等の業務に従事する職員
- (2)県内でメンタルヘルスに関連する支援業務に従事する職員等

6 申込方法・締め切り

以下の電子申請・届出サービスから申し込みください。

【上半期精神保健福祉研修】（申込期間）令和7年5月1日（木）～5月31日（土）

https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=93171



7 その他

- (1) 受講費用は無料です。
- (2) 配信期間内での受講をお願いいたします。
- (3) アンケートを設けています。今後のよりよい研修運営のため、回答に御協力いただきますようお願いいたします。
- (4) 動画視聴等にかかる通信料等は、視聴される方の負担となります。
- (5) 御自身の PC、スマートフォン等機器やインターネット回線の障害等に起因する研修受講上のトラブルにつきましては、当センターは責任を負いかねます。
- (6) 本研修の録画・録音・撮影、および資料の二次利用、第3者への URL の提供、詳細内容の SNS への投稿は、固くお断りします。これらの行為が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただくことがあります。

8 問合せ先

問合せ先：埼玉県立精神保健福祉センター 地域支援担当 岸田 電 話：048-723-3333（内1211） 電子メール：n2314452@pref.saitama.lg.jp

令和7年度 精神保健福祉研修（オンデマンド研修）プログラム表

配信時期		講義番号	概要	講義時間 (分)	内容	講師
上半期 2025/6/13 ～ 2025/8/13 下半期 2025/12/5 ～ 2026/2/5	施策の動向や基本的な考え方	1	精神保健福祉法改正等の施策の動向	30	包括ケアシステムの目指すものや、精神保健の重要性、施策の動向について基本的な理解を深める。	社会福祉法人じりつ 理事長 岩上洋一
		2	地域包括ケアシステムについて	30	地域での事例をもとに、地域包括ケアシステム実現のために保健・医療・福祉関係者等それぞれができることを考える。	埼玉県立精神保健福祉センター 地域支援担当 主査 吉川圭子
	精神疾患の基礎知識、精神科医療や精神科救急について	3	統合失調症	60	精神障害者の支援を考える上で基本となる統合失調症について、疾病の特徴、治療や支援方法について学ぶ。	埼玉県立精神医療センター 病院長 黒木規臣
		4	アルコールや薬物の依存症	60	アルコール及び薬物依存症の概念と治療。依存症の特徴や、どのような物質が依存対象となるのか等を学ぶ。	埼玉県立精神医療センター 科長 合川勇三
		5	発達障害	60	発達障害の基本的理解を深めることに加え、こどもの心の発達や二次性併存障害の理解について学ぶ。	埼玉県立精神医療センター 医長 小川真彦
		6	気分障害、神経症・心身症	60	それぞれの疾患について、概念や要因、症状やその治療法について学びを深め関わり方のポイントを学ぶ。	埼玉県立精神医療センター 医長 本間昭博
		7	精神科医療との連携（入院形態）	60	医療との連携の上で必要な、精神科医療機関の機能や役割を理解し、精神保健福祉法や精神科の入院形態等を学ぶ。	埼玉県立精神医療センター 療養援助部 副技師長 山内千恵美
		8	精神科救急医療体制について	30	埼玉県における精神科救急医療体制、精神科救急の考え方を理解し、救急事例化を防ぐ取り組みについて学ぶ。	埼玉県立精神保健福祉センター 精神科救急情報担当 主任 齋藤真哉
	地域における相談の受け方や支援について	9	統合失調症を持つ人の理解と支援	60	支援者が知っておくべき本人の生活のしづらさ、接し方や関わり方の工夫、精神科リハビリテーションの考え方について学ぶ。	埼玉県済生会鴻巣病院 院長補佐 関口暁雄
		10	精神保健に課題を抱える方の相談の受け方とアセスメント	60	精神保健領域の相談に必要な、疾病性・事例性の概念を知り、相談の受け方（見立て・方針・援助）やアセスメント技術の向上を学ぶ。	埼玉県立精神保健福祉センター 企画広報担当 主査 吉田太郎
		11	対応に苦慮する事例へのアセスメントや支援について	60	母子保健、ひきこもり、高齢福祉分野で、支援が進まない、支援を拒否するなど対応に苦慮する事例をどのように見立てるか、アセスメントを深め、支援に生かす。	菊池臨床心理オフィス 菊池礼子
		12	家族相談の受け方 家族の理解と支援について	60	本人が登場しない家族相談を受ける際の基本姿勢、家族と本人のより良い関わりを促すために今日から使えるポイントを学ぶ。	埼玉県立精神保健福祉センター 企画広報担当 主査 山神智子
		13	メンタルヘルスに関する相談に潜む境界知能・軽度知的障害について	60	周囲の理解や気づきが得られないまま生きづらさを抱え、つまづきや傷つきを体験することの多い「境界知能」「軽度知的障害」。その関わりに必要な理解を深め、支援の考え方を学ぶ。	永井心理臨床オフィス 永井めぐみ
		14	依存問題を抱える事例への相談や支援について	60	依存問題の相談の受け方や心構え、本人・家族相談の実際～「依存」の背景にある生活課題や問題を知る～	浦和まはろ相談室 高澤和彦
		15	障害福祉サービス	60	精神障害の特性を踏まえた相談支援の在り方や障害福祉サービス・社会資源の利用方法を学ぶ。	埼玉県相談支援専門員協会 副代表 小金渕美保子